

	2018年 10月1日 第794号	JR東海労新幹線関西地方本部 http://www.geocities.jp/jrcu_kansai/ 発行責任者 畑野 浩孝 編集責任者 島津 力
---	-------------------------	---

一方的な休日出勤反対！ 年休の失効は許さない！

9月13日にJR東海関西支社が行なった休日出勤の「お知らせ」に限らず、JR東海会社は営利優先・安全無視の様々な嘘とゴマカシでやりたい放題を繰り返しています。

年休を完全付与せよ！ 年休の失効は許さない！

【例えば会社は法廷の場で】

「新幹線各運輸所の全ての乗務員が年休を20日取得できる状況とはならないと見込まれる場合に、乗務員に対して休日勤務指定を行っている」と言っています。

【要するに】

JR東海会社は年休を出すために休日出勤を行っているということです。

会社は常々（この間ずっと）、「年休17日の消化率で十分」と受け止められる発言を繰り返しています。ということは、常にそれだけの要員しか確保する気がないということです。「年休を20日取得できる状況にする」など考えていません。

このままでは、今まで以上に2日～4日の年休が流れてしまう事態だということです。

一方的な休日出勤反対！ 新幹線の安全を守ろう！

【また会社は法廷の場で】

「過去の経験則等に基づいて臨行路等の設定を行っている」と言っています。

【しかし現実には】

一方的な休日出勤は15年以上も前から常態化しています。

【今まさに新幹線乗務員は】

こんな状況が15年以上も続いているのに、更に労働強化された勤務＝乗務を押し付けられようとしているのです。

**こんなことで乗客の安全と乗務員の安全が守れるわけがありません。
やりたい放題を許さず、年休失効と一方的な休日出勤解消に向けて、
職場からあらゆる取り組みを展開していきましょう！！**